

千葉県町村会

千葉県町村会では、平成26年にスタートした特別区全国連携プロジェクトに平成29年1月19日に連携協定を締結し、今年で早7年が経過いたしました。その間、魅力発信イベント等へ参加することにより、他地域との交流を図ることができました。

人口減少・少子高齢社会の中、様々な行政課題を抱える全国の自治体がともに繁栄し共存していくためには、それぞれの地域の特色を生かし、互いに手を取り合い歩み寄りながら、地域活性化に取り組む姿勢が一層求められます。

今後も特別区全国連携プロジェクト等を通じて、全国の各地域と連携し、活動して参りたいと思います。



特別区長会と千葉県町村会は、平成29年1月19日に広域連携協定を締結しました。

ちばはおいしいニュースにあふれている。

ちばは海産物の宝庫

千葉県は、太平洋に突き出た半島になっており、三方を海に囲まれています。約534キロメートルに及ぶ海岸線は変化に富み、沖合域を交差する黒潮、親潮の影響も受けて、豊かな漁場と多様な水産資源に恵まれています。

千葉県の四季のさかな (平成12年度産)

春	夏	秋	冬
<p>マダイ 正真正銘のタイ科の魚は、マダイ、タイ、キダイ、クロダイ、ヘダイの4種類です。平成元年には、これを愛し、「タイ」を魚の魚に選定しました。</p> <p>カツオ 典型的な紡錘形で、背中が銀青色、腹側が銀白色の縞色の縞模様があります。群魚のよしもは、この縞模様がはっきりしています。</p> <p>アサリ アサリは約100の干貝に多く見られ、春先には「潮干狩り」でも親しまれています。毎年春先が、夏が訪れるまでおいしくいただけます。</p>	<p>スズキ 産卵後とくにセイゴ、フッコ、スズキと名前が変わる出世魚で、千葉県の名産品は日本一です。さっぱりとした味が特徴的な白身魚です。</p> <p>マイワシ 千葉県の代表的なさかなの一つとして広く親しまれています。白身魚で非常に豊富に産出されていることから、夏に産卵を始める魚でもあります。</p> <p>アワビ サザエと同じ殻が一枚からなる魚貝の仲間です。海産の多い岩場に産出しています。生食や干しや海女が好んでとっています。</p>	<p>サンマ 【サワリ】の名の通り、形も魚にも似ています。漁は、8月中旬頃に南下する北太平洋で漁獲し、冬にかけて、東北には親子沖が漁場になります。</p> <p>イセエビ 千葉県は、日本一のイセエビの産地です。昔からお祝いの際には欠かせないものの一つです。【期間】漁業などで漁獲されます。</p> <p>サバ 日本近海には、マサバとコマサバが産出しています。サバの脂肪には、特に脳細胞の働きを活性化させるDHAが豊富に含まれています。</p>	<p>キンメダイ 水深200～500mの深場に棲むため目と口が大きく、名前の由来も黄金色に輝く大きな目が由来です。身は白く、味は、肉に凝縮しています。</p> <p>ヒラメ 白身の高級魚として寿司などにも珍重されています。特に冬は、「霜どろり」といわれ、身が柔らかいのが特徴的においしさです。</p> <p>ブリ 関東ではワカシ、イナダ、ワラサリと名前が変わります。冬は、「霜どろり」といわれ、身が柔らかいのが特徴的においしさです。</p>

ちばはおいしいニュースにあふれている。

豊乃鶴酒造 (大多喜町)

豊乃鶴酒造の「庄家造りの母屋」や「赤レンガの煙突」、「元精米所」等は国の有形文化財に登録されており、伝統の手づくり製法にこだわった酒造りにはファンも多く、代表銘柄の「大多喜城」と創業の地名を冠した「鶴神」は、キレの良い辛口でありながら、しっとり日本酒本来の旨味を楽しめると評判です。

寺田本家 (神崎町)

近江で創業した「寺田本家」は、江戸・延宝年間に神崎に移り、以来約300年を経て酒造りを行ってきました。原料米は全て無農薬・無化学肥料栽培。契約農家が丹精込めた米と、蔵人たちが自社田で収穫した米を原料に、蔵内の湧水を仕込み水として使用した昔ながらの「生もろり」で酒を醸しています。「五人娘」「香取」は、通達を一切しない無濾過でお届け。自然な琥珀色を纏ったこのお酒は、身体に優しい乳酸菌の芳醇な酸味とコクのある味わいが特徴です。

ちばのお酒

千葉の地酒は、四季の個性が詰まっています。匠の思い入れを込めて醸す、酒造りの個性が詰まっています。

稲花酒造 (一宮町)

創業元禄2年(1689年)創業。社氏制を止め自分たちの手で酒を造り始めてから早20年、全国新酒鑑評会での金賞受賞は16回を超え、2015年は世界における審査の権威と言われるインターナショナルワインチャレンジ日本酒部門において不動の純米大吟醸が金賞を受賞しました。「酒人心」に心づくろを造るのがモットーです。

ちばはおいしいニュースにあふれている。

日帰りでもOK ちばの温泉

意外なことに千葉県には200以上の温泉があります。東京から近く、海や山の眺望も良く、何よりも「成分」で選ばれている千葉の温泉。花摘み、釣り、ハイキング、サーフィン、ドライブなど、千葉で楽しんだあとは、温泉にゆっくりつかってみませんか。

<p>【白子町】 白子温泉</p> <p>白子温泉は、雄大な九十九浜を望む白子町の真中に位置しています。自然に恵まれた砂浜の砂を眺めながら楽しむ温泉の楽しみはナトリウム塩化物泉です。効能は切り傷、やけど、慢性皮膚病、虫咬症、慢性腎臓病、神経痛、筋肉痛、腰痛、五十肩、冷え症、疲労回復などに効くとされています。</p>	<p>【大多喜町】 養老深谷温泉</p> <p>別荘地にある養老深谷は、黒湯が湧き出すことで有名です。ぬめりのある黒湯は、色のおもしろさでも知られることから、肌を癒す効果も期待されています。温泉には含まれる天然ミネラルや炭酸ガスなどの成分が、皮膚病やアレルギー性皮膚炎、関節痛、腰痛、五十肩、運動神経痛、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性腎臓病、再発性、消火性、慢性腰痛、おたけず、おたけ、慢性皮膚病、慢性腎臓病、慢性腎臓病などに効くとされています。</p>
<p>【御宿町】 御宿町の温泉</p> <p>御宿は、全長2kmの白砂ビーチが広がる人気の海岸で、夏は「月の砂」のモティーフが人気です。温泉は「おたけず」の湯で、伊勢ヶ浜・あびが「おたけず」の湯、港から直接入れる新鮮な魚介類を味わえるおたけず、ゆっくとくつろげるおたけずがあります。また、全長2.5kmの海岸線と、近所から多くの温泉地帯が楽しめます。</p>	<p>【一宮町】</p> <p>温泉の泉質はナトリウム塩化物泉です。効能は神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動神経痛、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性腎臓病、再発性、消火性、慢性腰痛、おたけず、おたけ、慢性皮膚病、慢性腎臓病、慢性腎臓病などに効くとされています。</p>

平成29年度
第2回全国連携展示にて、
千葉県の町村を紹介する
展示を行いました!